

教科目標	
聞くこと	
ア. はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。	
イ. はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。	
ウ. はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。	
読むこと	
ア. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。	
イ. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。	
ウ. 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。	
話すこと【やり取り】	
ア. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。	
イ. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。	
ウ. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。	
話すこと【発表】	
ア. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。	
イ. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。	
ウ. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。	
書くこと	
ア. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。	
イ. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。	
ウ. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。	

1 学期 主な学習内容 (48 時間)	2 学期 主な学習内容 (58 時間)	3 学期 主な学習内容 (34 時間)
○アルファベットの基礎知識小テスト ○Starter ○Lesson1 About Me ○Lesson2 My Hero ○Lesson3 My Treasure ○Lesson4 My Summer Plans	○Lesson5 Ms. Browns Family ○Lesson6 School Life in the U.S.A. ○Lesson7 Athletes with Spirit ○Reading Lesson 1 Alice and Humpty Dumpty	○Lesson8 Discover Japan ○Lesson9 Emergency Food ○Reading Lesson 2 Sleepy Lord Thunder

評価の観点と規準（各観点の割合は、全て達成率 100%で統一する。）			
	評価の観点（1 学期より抜粋）	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ね B 評価」等の設定（行動目標）
I 知識・技能	Lesson3 Part1 ・be 動詞と一般動詞の現在形（1・2 人称）の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・be 動詞と一般動詞の現在形（1・2 人称）の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。	【全教科共通】 ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・単元テスト ・小テスト ・ワークシート ・言語活動への取組	ワークシートは、A、B、C で評価する。 A＝名前や好きなものについて、be 動詞と一般動詞の現在形（1・2 人称）の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 B＝名前や好きなものについて、be 動詞と一般動詞の現在形（1・2 人称）の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを書く技能を身につけている。 C＝名前や好きなものについて、be 動詞と一般動詞の現在形（1・2 人称）の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを書く技能が不足している。
	Lesson2 Goal Activity 友だちや先生にあこがれの人物の魅力を伝えるために、その人物の名前やできることについて、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを話すことができる。	【全教科共通】 ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・単元テスト ・小テスト ・パフォーマンステスト ・言語活動への取組	パフォーマンステストは各項目を 5 段階で評価する。【Expression】の評価例。「5＝聴衆を惹きつけるジェスチャーや抑揚をつけて話している。4＝聴衆を意識しながらジェスチャーや抑揚をつけて話している。3＝聴衆のために、ジェスチャーや抑揚を多少はつけて話している。2＝特に聴衆への意識は感じられず、ほとんどが棒読みである。1＝原稿を読んでいる状態と変わらない。」 ※ワークシートやパフォーマンステストはその都度、評価表があり、詳しい基準が示されている。
III 主体的に学習に取り組む態度	Goal Activity 友達や先生に自分のことを知ってもらうために、「宝物クイズ」をする。適切な情報をまとめて、簡潔かつまとまりのある内容を話すことができる。	【全教科共通】 ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 【各教科の方法・資料】 ・ワークシート ・言語活動への取組	【全教科共通】 ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 【各教科 独自の方法】 A＝宝物クイズをするために、クイズのヒントについて、適切に情報を並べて、簡潔かつまとまりのある内容を話そうとしている。 B＝宝物クイズに参加するために、クイズのヒントについて、情報を並べて、まとまりのある内容を話そうとしている。 C＝宝物クイズに参加するために、クイズのヒントについて、まとまりのある内容を話そうとしている。